令和６年度　河頭中学校３学期学校評価

※3学期を振り返り、「本年度の重点目標」について達成度を4段階で自己評価してください。

評価　　４　十分にできた　　３　ややできた　　２　あまりできなかった　　１　できなかった

番号	本年度の重点目標	R6 2学期	項　　目	評価
1	確かな学力を身に付けさせる	3.3	諸調査・検査等から実態把握と課題の明確化を迅速に実施したか。	3.3
		3.3	明確化した課題解決の具体を授業での実践や家庭学習の充実に繋げる支援や啓発を行ったか。	3.3
		3.8	TT指導や少人数指導等による知識・技能の定着を図ったか。	3.6
		3.2	個別指導・補充指導の充実によって個々の伸長を最大限図ったか。	3.4
		3.2	「河頭スタンダード」を取り入れた授業実践を進め，授業充実の３アクション（目標の明確化，山場の工夫，確かめと見届け）を実践したか。	3.0
		3.2	学習の躾の徹底，主体的な態度の育成（「学習の手引き」の活用）を進めたか。	3.2
		3.8	ツールとしてのICT活用の機会を増やしたか。（学期１以上の実践）	3.8
2	体力，健康・安全に関する知識・習慣を身に付けさせる	3.4	教科・領域等との関連を図りながら，食に関する指導，性に関する指導，喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育，心の健康や生命尊重等の充実を図ったか。	3.4
		3.4	新しい生活様式を取り入れた衛生習慣を確立させることができたか。（感染症予防）	3.4
		3.4	一校一運動（ランニング，キャプテン会議等）による体力向上やケガ防止を図ったか。	3.3
		3.5	教科体育を充実し，自ら運動に親しみ実践していく能力や態度を育んだか。	3.7
		3.5	早寝・早起き・朝ごはん運動，むし歯治療率の向上など，家庭と連携した指導・啓発を実施したか。	3.5
3	全教育活動を通した道徳教育を充実させる	3.2	特活や他の教育活動との関連を図りながら，道徳的な実践に結びつく横断的な道徳教育を推進したか。	3.3
		2.8	道徳科授業の指導方法と評価の見直しを行ったか（一単位時間の指導過程及び評価）。	3.0
		3.2	命の尊さ，思いやりの心の育成に特化した「いじめ問題を考える週間」の取組を意識化できたか。	3.1
		3.3	「人権教育は，全ての教育の基本である」ことを認識する研修を実施し，人権感覚を醸成する学級・学校づくりを意識して実践したか。	3.1
4	不登校の改善・解消を図る	2.8	命の教育（自殺防止教育，ストレスマネジメント等）を継続・充実させたか。	3.0
		2.5	個別支援計画を基に，家庭・関係機関と連携して学校全体で対応できたか。	2.8
		3.1	新規不登校事案予防のために早期発見・対応をとったか（対策委員会の継続審査）。	3.0
		3.4	教育相談やケース会議での情報を共有したか（対策委員会での継続審査）。	3.4
		2.9	関係施設・SC・民生児童委員・市教委等との連携実践を行ったか。	3.0
		2.8	傾聴，受容，共感に基づく生徒理解を深めるための研修の充実を図ったか。	2.6
		3.3	河頭中地区青少年健全育成連絡協議会の充実を図ったか。	2.8
5	いじめ問題や問題行動への対応と予防を図る	3.6	観察・アンケートを通して，いじめ問題の早期発見・早期対応を行ったか。	3.6
		3.3	生徒指導委員会を中心に共通理解・共通実践を行ったか。	3.5
		3.2	生徒理解に基づいた生徒指導を推進したか（問題行動や不登校などの未然防止）。	3.5
		3.3	生徒会・学級活動を通して自治意識を育み，自浄作用を図ったか。	3.3
6	特別支援教育の充実を図る	3.5	全職員の共通理解・共通実践ができる校内支援体制を確立できたか。	3.1
		2.6	個別の支援計画の作成及び支援の在り方の研究・実践を進めたか。	2.6
		3.0	指導法や支援の在り方を模索・検討し，特性を伸長する教育を行ったか。	2.9
		3.0	特別支援教育支援員との連携，協働を強く図ったか。	3.1
		3.5	教育支援委員会の定例実施で，学びの場・指導方法の確認を行ったか。	3.5
7	進路実現をさせ，キャリア教育の充実を図る	3.4	職場体験，職業講話，高校訪問，専門校フェスタ等の体験をとおして，生徒に具体的なビジョンをもたせることができたか。	3.4
		3.3	生徒に上級学校や職業など，中期・短期の目標を設定させることができたか。	3.2
		3.3	目標の達成に向かう筋道を学ばせるための助言や情報を与えることができたか。	3.4
		3.2	進路情報の収集・整備，定期相談等を系統的・継続的に行ったか。	3.2
8	安心・安全な学習環境を整える	3.5	安全点検の結果を即時対応・改善することができたか。	3.6
		3.3	避難訓練をとおして，危機意識の高揚と新しく正しい知識，実践力を身に付けさせることができたか。	3.3
		2.6	グリーンクリーン週間（一人一鉢）等の取組で花いっぱいの学校にできたか。	2.7
		2.8	水害被災地区の教訓を伝え，生かすことができたか（校区安全マップの点検）。	2.7
		3.2	合理的配慮に基づいた設営と新しく正しい知識・情報を伝える掲示を心がけたか。	3.2
9	ICTを活用した活動拡充を情報モラルの育成を図る	3.5	GIGAスクール構想の推進を図ったか（タブレット端末活用による授業活用例を増やす）。	3.5
		3.2	個人情報保護マニュアルの作成，情報保護管理体制の整備を進めたか。	3.3
		3.4	情報モラル教育の年間指導計画の作成と情報モラル教育を進めたか。	3.3
10	開かれた学校づくりを推進する	3.6	HPや学校だよりでの定期的な情報発信を行ったか。	3.7
		3.5	例えばエイサー披露を手段として，校区内外への貢献を進めたか。	3.4
		3.3	コミュニティー・スクールとしての準備を進めたか（学校運営委員の選出，職員のコミュニティー・スクール理解　等）。	3.3
11	まず職員が心身ともに健康で，服務規律を確保した上で実感できる業務改善を行う。	3.2	参加的な研修やSee-Smileでの定期的な情報提供を行い，法規等に基づいた服務の理解を進めることができたか。	3.3
		3.3	学校だよりやHPで業務改善の具体を保護者に理解してもらう取組を行ったか。	3.4
		3.0	業務改善係を管理職以外に設定したか。	3.0
		3.0	月１回以上の年休取得の目標提示と達成を図ったか。	3.4
		3.2	年休を取得しやすい日課表を活用したか。	3.3
		3.3	紙やインクを減らしたり，節水・節電したりする日常を意識化できたか。	3.2

【自由記述欄～各項目についてのご意見・反省等も含む】

・学校評価の項目がわかりにくい、評価しづらいものがあるような気がします。来年度は変更してもよいのではないでしょうか。
★保健指導：令和６年度むし歯が見つかった生徒１６名中１２名が治療ずみで治療率７５％を達成できました（鹿児島市の治療率は５０．８％）。担任の先生方による治療勧告は効果がありました。治療費無料の対象者なのに治療に連れて行かない保護者と話をしてみると，兄弟姉妹が不登校で保護者に元気が無かったり，家族構成の事情で治療に連れて行けないことが理由のようです。
★保健指導：小中連携部会の共通実践事項「メディアコントロールにPTAと取り組む」については，４つのお願い「フィルタリング設定・家庭ルール・メディアチェックカード・ルール＆マナー」を継続することを学校保健委員会で確認ずみです。また，メディアチェックカード実施期間を校区内小学校と合わせるための話合いと連携を終えています。令和７年度もよろしくお願いします。
・本校が特認校である以上，不登校傾向のある生徒が多く在籍することになります。担任だけでの対応では限界があるので，学年部・学校全体で協力して対応できる体制作りが必要だと感じます。週末に家庭訪問に行きやすい日課表の設定や，不登校傾向のある生徒が登校したときに過ごせる場所・教室の設置などの工夫も検討してもらえたらありがたいです。
・教育課程の提出期限が守られず，係の先生が苦労されていました。時間が守れる学校になって欲しいです。
・不登校生への担任の先生型を中心とした，きめ細かな対応をありがとうございました。
・にこにこチェックなど，いじめ問題の早期発見のための取組みへの御協力，ありがとうございました。新年度に，生徒指導提要に基づいたいじめ対策等の研修で，対応の共通理解をしていきたいと思っています。よろしくお願いします。　　・バス通学生の授業中の下校をどうするか。
・卒業式歌の練習の計画、実施方法の検討。
・節電・節水・節空調等，例年より夏暑く冬寒い中，ご協力頂きありがとうございました。
・職員記念撮影で，職員が参加しやすい時間帯に実施して頂き有難うございました。
・照明の交換で教室・廊下が明るくなった。
・施設設備の老朽化などで不具合が多いように感じる。決して担当や係の責任ではなく，設備については自分たちではどうしようもないことも多い。また，設備についてはお互いに丁寧に大事に使うしかないのかなと思います。
・女子の更衣室とスマイル１組の教室の設置の方法は改善した方が良いと思う。スマイル学級数でも変わると思うが，皆で知恵を出し合う必要があると思います。
・生徒の呼び捨ては，教員としての礼儀，また常識的によくないと思います。生徒を呼び捨てにする先生が年々少なくなってきているように思いますが…。

・どこかの時間で職員作業の時間を設定して，職員更衣室の大掃除を行いましょう。
・こがーるテストとウォークデイは不定期ではなく，「〇曜日の朝行う」とはっきりさせて実施する。準備をする生徒もやりやすいく自覚が出ると思う。
・廊下や階段の通行の仕方。複数で広がって話をしながら歩く、慌てて全力で走るなど、安全面を考慮し、回りを見て落　　ち着いて行動できない生徒がいる。（特に湿度の高い日は、滑ってケガをしないか心配。）
・不登校の生徒への対応。電話での連絡がつかない。家庭訪問をしても本人には会えない。保護者・本人の都合で、来られる時に来て、帰りたいときに帰る。その間、教室以外のところ（別室）で過ごしたい等、朝から放課後まで、それぞれの状況に合わせた対応してくことが難しい。
・生徒の呼称について。「呼び捨て」や「くん」、「さん」、「ちゃん」、ニックネーム等、いろいろな呼び方がありますが、授業中や行事の時など公の場では、できるだけ全生徒に共通した敬称をつけて呼ぶようにしたい。小学校では、男女を問わず〇〇さん、と統一した敬称を使っているところが多いようです。中学校卒業後、さらに広い社会に出て、多くの人と関わっていくことになる子どもたちのことを考えると、私的場面と区別することを意識させることも必要かと思います。
・週に１度の定時退庁日は全員定時で帰れるようにお願いしたい。